



株式会社ウイルテック

東京証券取引所市場第2部

証券コード：7087

2022年3月期第2四半期

決算説明資料

2021年11月10日

ディスクレーム

- **資料内の業績数値について**

当資料に記載する数値は、以下を前提にご覧ください。

監査法人により監査済	2020年3月期 2Q・3Q・4Q 2021年3月期 1Q・2Q・3Q・4Q 2022年3月期 1Q・2Q
未監査	2020年3月期 1Q

- **数値に関する注意事項**

当資料については、特段の注記がない限り数字については表示単位未満切捨て、比率、年数及び倍率等については表示単位未満四捨五入して表示しています。

- **見通しに関する注意事項**

当資料に記載されている内容は、いくつかの前提に基づいたものであり、将来の計画数値や施策の実現を確約したり保証したりするものではありません。

ウイルテック・グループの主要4事業

(2022年3月期第2四半期)



EMS事業

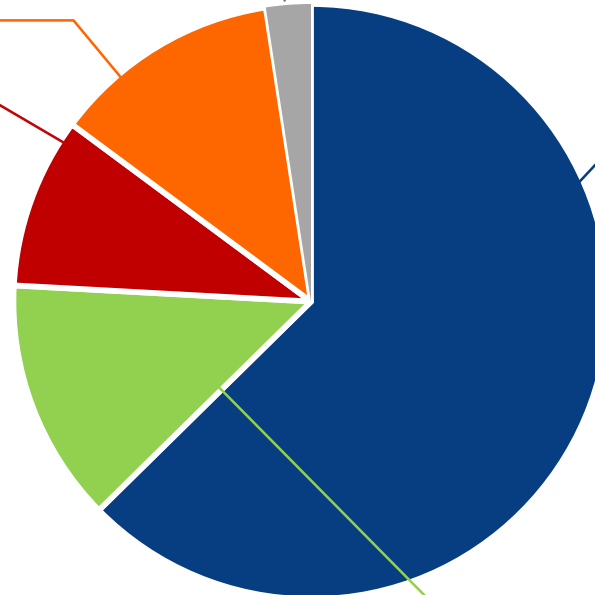
- 電子機器の受託製造
- 電子部品卸売



ITサポート事業

- ITエンジニア派遣：SE・PG・IT基盤/運用等
- 請負開発：社内開発

その他



マニファクチャリング サポート事業

- 製造請負・製造派遣
- 機電系技術者派遣
- 修理サービス



コンストラクション サポート事業

- 建設系技術者派遣
- 建設に関する教育・研修サービス



2022年3月期
第2四半期
決算概要

5



2022年3月期
業績予想

16




トピックス

21



APPENDIX

25

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

2022年3月期第2四半期 決算概要

2022年3月期第2四半期決算概要

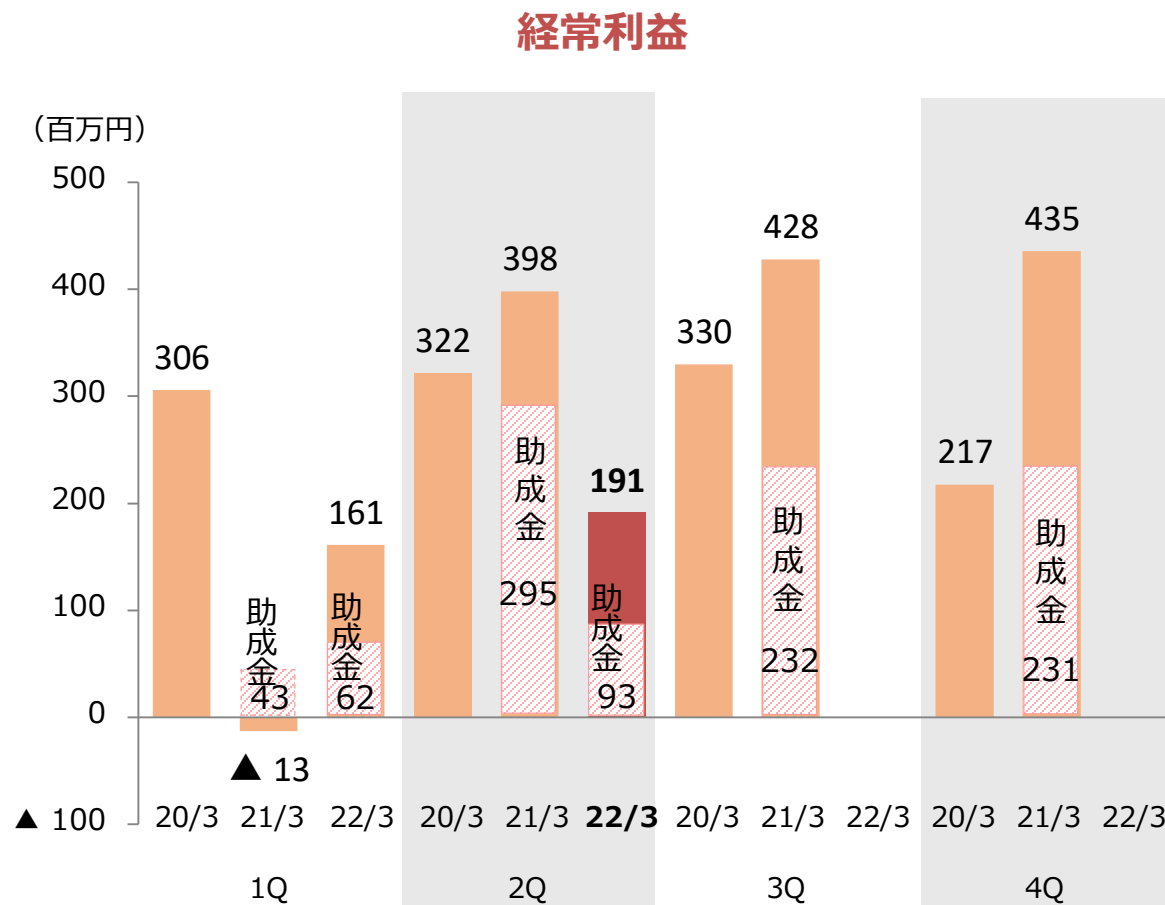
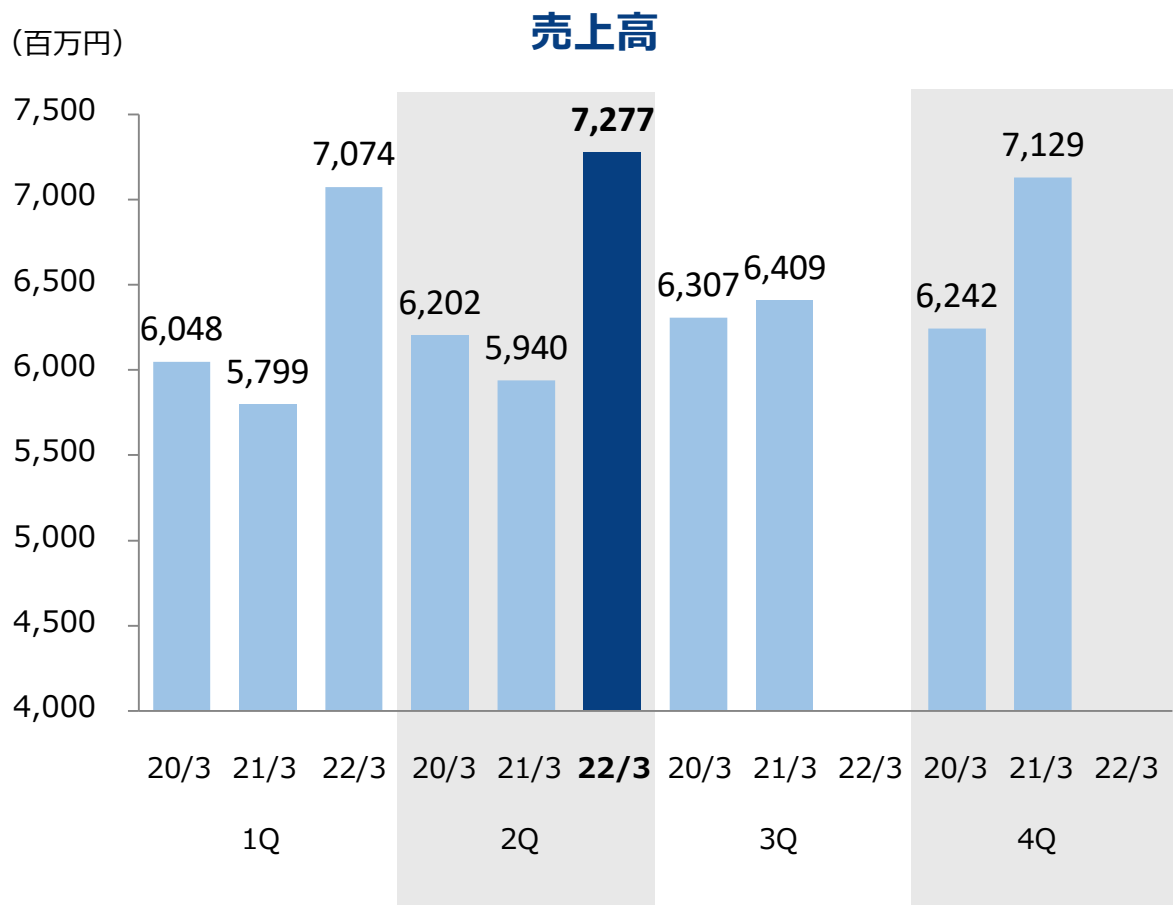
- 各業界で人材需要の順調な回復により売上高は拡大
- 利益面では人材獲得競争が激化し、採用コストの増加が影響

(百万円)	2021/3期 第2四半期 実績	2022/3期 第2四半期 実績	前年比	
			増減額	増減率
売上高	11,739	14,351	+2,612	+22.2%
営業利益 (営業利益率)	39 (0.3%)	195 (1.4%)	+156 (+1.1p)	+396.2%
経常利益 (経常利益率)	384 (3.3%)	352 (2.5%)	▲32 (▲0.8p)	▲8.2%
親会社株主に帰属する四半期純利益 (四半期純利益率)	200 (1.7%)	198 (1.4%)	▲2 (▲0.3p)	▲1.0%
一株当たり四半期純利益 (円)	32.52	31.73	▲0.79	▲2.4%

2022年3月期業績推移（四半期単位）

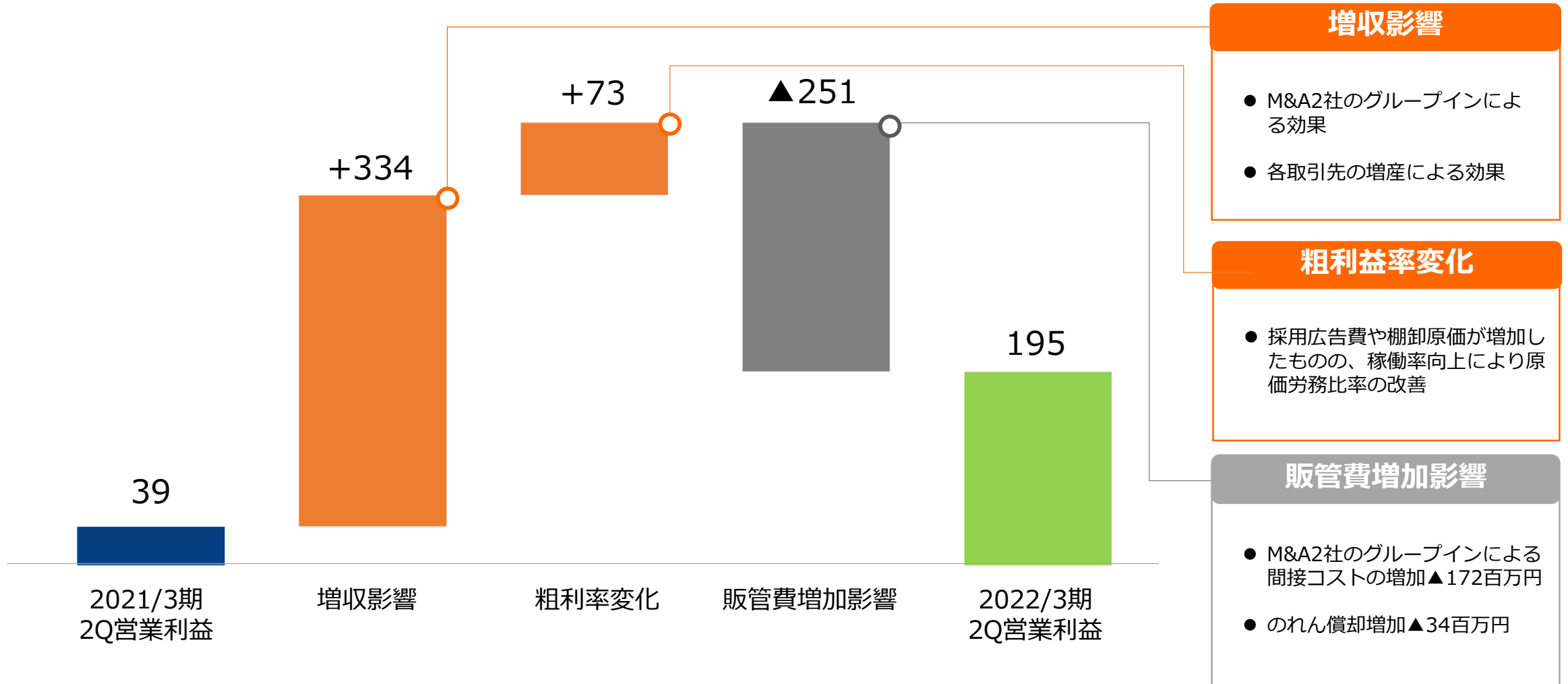
【売上高】 経済活動の再開や半導体不足に対する各メーカーの在庫確保により需要は好調

【経常利益】 急激な市場回復に対し、人件費の高騰と人材確保のための採用コスト高が利益を圧迫



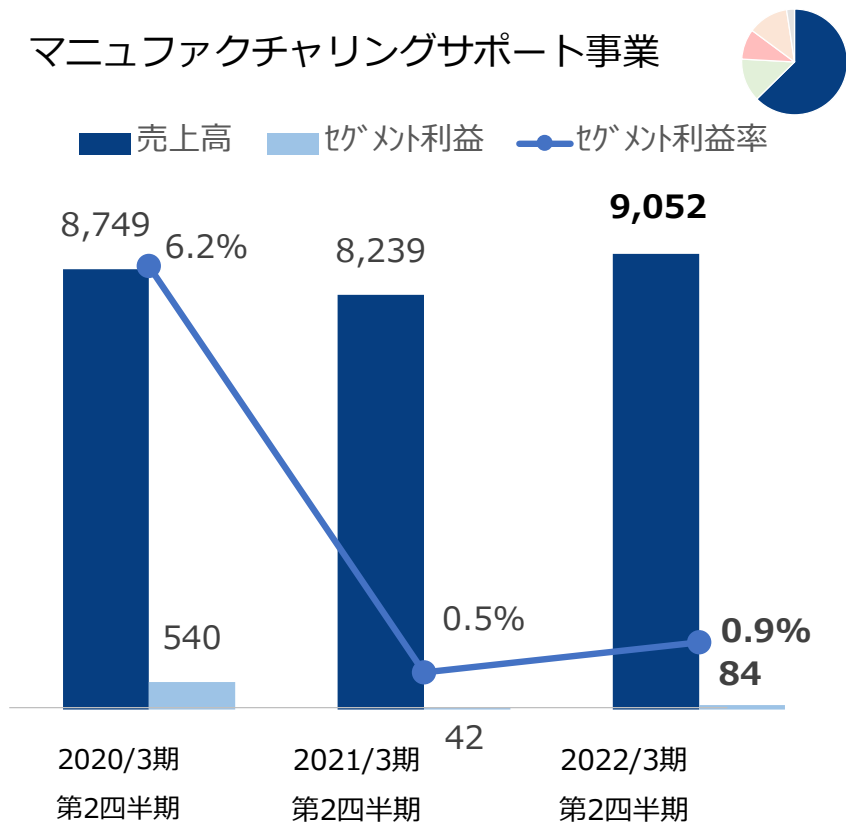
営業利益増減要因分析

- 原価や人件費の増加、グループインに伴う費用の増加等を売上高の増加でカバー
- 原価労務費率はコロナ禍の影響は軽減されたものの、コロナ禍前の水準には戻りきらず



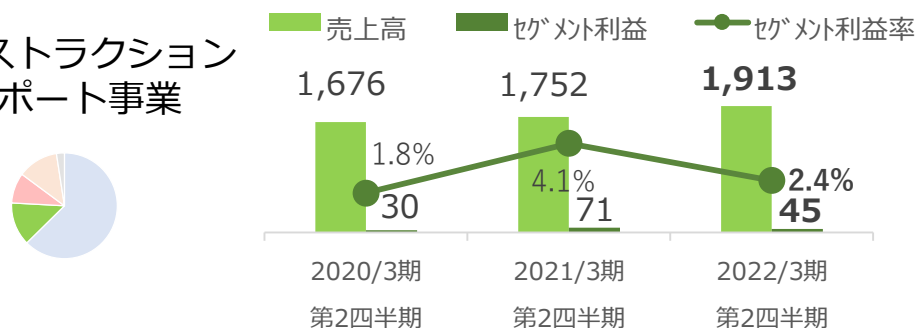
セグメント別業績推移

マニファクチャリングサポート事業



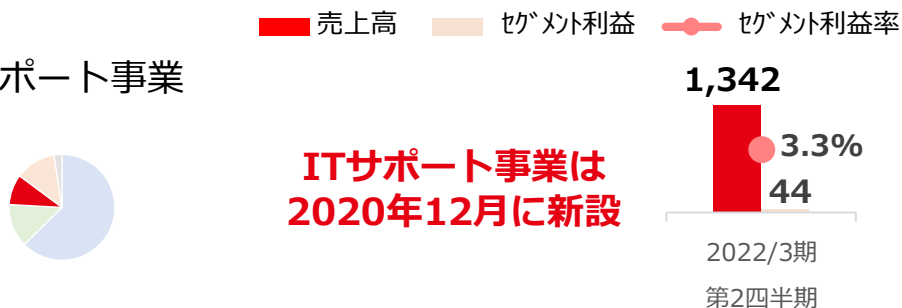
- コロナ禍からの生産回復に加え半導体関連の重要が拡大する一方、人材採用の競争激化により利益率を圧迫

コンストラクションサポート事業



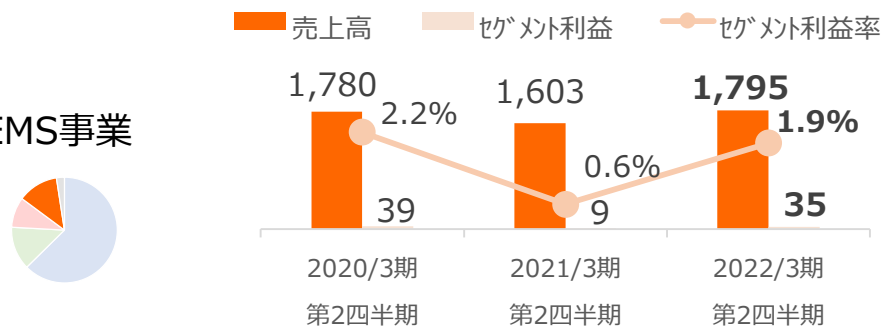
- 待機者配属に注力し、待機ロスの減少に努めたことにより1Q末に比べ原価率が改善。ただし、今後の人材採用の競争激化への対応が課題

ITサポート事業



- コロナ禍における影響の様子見が一段落し、人材需要は回復傾向。需要に対応するために、採用力強化に注力

EMS事業



- コロナ禍からの回復や半導体不足を背景に、各社の設備投資意欲は急激に回復。他方、部品不足を懸念した先行発注も多数あり、正規発注量の見極めが重要

マニファクチャリングサポート事業 分野別内訳

- 国内の製造業は概ね生産活動を再開し、半導体関連、情報通信関連が好調を牽引
- 海外案件の再稼働は、渡航制限の継続により未定

(百万円) (括弧内：構成比)	2021/3期 第2四半期	2022/3期 第2四半期	前期比	
			増減額	増減率
電子部品・デバイス・ 電子回路製造業	1,921 (23.3%)	1,888 (20.9%)	▲33	▲1.7%
情報通信機械器具 製造業	2,244 (27.2%)	2,830 (31.3%)	+586	+26.1%
電気機械器具製造業	1,226 (14.9%)	1,397 (15.4%)	+171	+13.9%
その他	2,849 (34.6%)	2,935 (32.4%)	+86	+3.0%
合計	8,239 (100%)	9,052 (100%)	+812	+9.9%

電子部品・デバイス・ 電子回路製造業

前期比 ▲1.7%



半導体不足とコロナ影響を危惧したメーカーの在庫積み増しを背景に引き続き生産好調。一方、渡航制限により海外案件が稼働せず業績に影響

情報通信機械器具製造業

前期比 +26.1%



5G関連の生産増加など、引き続き好調。一方で、半導体不足が影響して一部のスマホ関連企業が減産

電気機械器具製造業

前期比 +13.9%



巣ごもり需要により引き続きゲーム機などの取引先が好調に推移しているが、一部半導体不足やコロナ影響により人材確保に慎重姿勢も

コンストラクションサポート事業 分野別内訳

- 未経験者研修や待機者配属に注力するなど、原価率改善の体制づくりを強化
- 需要が回復傾向にある中、人材採用の競争激化への対応が最重要課題

(百万円) (括弧内：構成比)	2021/3期 第2四半期	2022/3期 第2四半期	前期比	
			増減額	増減率
人財サービス事業	1,731 (98.8%)	1,839 (96.1%)	+108	+6.2%
(内建築分野)	677 (38.6%)	626 (32.7%)	▲51	▲7.5%
(内建築設備分野)	815 (46.5%)	952 (49.8%)	+137	+16.8%
(内その他分野)	240 (13.7%)	261 (13.6%)	+21	+8.8%
請負・受託事業	21 (1.2%)	74 (3.9%)	+53	+252.4%
合計	1,752 (100%)	1,913 (100%)	+161	+9.2%

建築分野

前期比 ▲7.5%



建築人材の充足感に対応し、待機者配属に注力して採用を抑制。売上高は減少したが、待機口スの減少により原価率が改善

建築設備分野

前期比 +16.8%



建築設備人材の採用と教育に注力。取引メリットの高い企業への増員により原価率が改善

請負・受託事業

前期比 +252.4%



ホテル及び商業施設リニューアル工事の出来高進捗により、比較的順調に売上が拡大。新規参入事業として事業規模の拡大を進め、黒字化を目指す

ITサポート事業（2020年12月より新設） 分野別内訳

■ コロナ禍における影響の様子見が一段落し、人材需要は回復傾向。需要に応える採用力が課題

(百万円) (括弧内：構成比)	2022/3期 第2四半期
システム開発 【アプリケーション】	1,070 (79.7%)
(内WEB系)	517 (38.5%)
(内オープン系)	253 (18.9%)
(内汎用系)	91 (6.8%)
(内ERP)	209 (15.6%)
その他	272 (20.3%)
合計	1,342 (100%)

システム開発

コロナ影響での様子見が一段落し、要員の配属は順調に推移。今後は、需要に対し人材が不足することが見込まれ、採用力強化が課題

その他

ITシステムのサポートサービスは底堅い需要がある。一方でテレワークでの就業希望者が多くマッチングの難易度が課題

EMS事業 分野別内訳

- 半導体不足や海外サプライチェーンの生産力低下など、引き続き部品不足による先行注文が多数発生
- 先行注文を着実に売上につなげるには、部品の調達力向上が最重要課題

(百万円) (括弧内：構成比)	2021/3期 第2四半期	2022/3期 第2四半期	前期比	
			増減額	増減率
デバイス	847 (52.8%)	964 (53.7%)	+117	+13.8%
ユニット	756 (47.2%)	831 (46.3%)	+75	+9.9%
合計	1,603 (100%)	1,795 (100%)	+191	+11.9%

デバイス

前期比 +13.8%



半導体製造装置、物流倉庫、医用機器関連の設備投資が好調。各種センサーや半導体リレーを中心に販売好調

ユニット

前期比 +9.9%



半導体不足を背景に製造装置関連の設備投資や工作機械の増産体制が継続し、需要は順調に回復

連結貸借対照表の状況

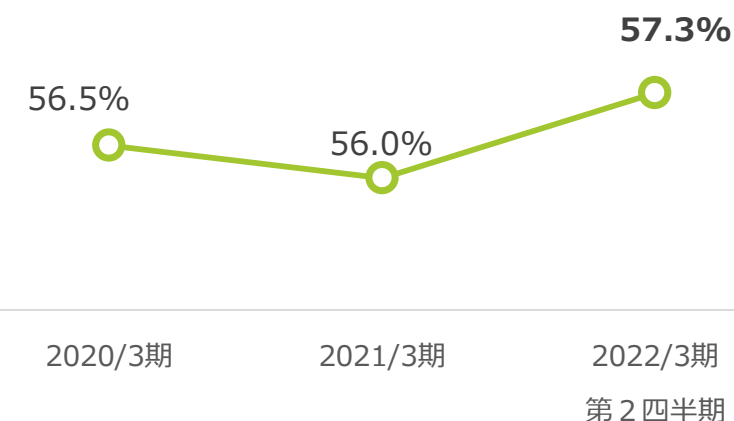
■ 借入金返済および未払い法人税等の支払いにより現預金が減少

(百万円)	2021/3期	2022/3期 第2四半期	増減
流動資産	9,599	9,286	▲313
現預金	4,547	4,109	▲438
売上債権	4,295	4,242	▲53
棚卸資産	324	415	+91
固定資産	2,692	2,542	▲150
(内 のれん)	724	678	▲46
総資産	12,291	11,828	▲463
負債	5,413	5,047	▲366
買入債務	456	494	+38
有利子負債	1,177	1,082	▲95
未払費用	1,635	1,680	+45
その他	2,143	1,791	▲352
純資産	6,877	6,781	▲96
負債純資産合計	12,291	11,828	▲463

財務の安全性

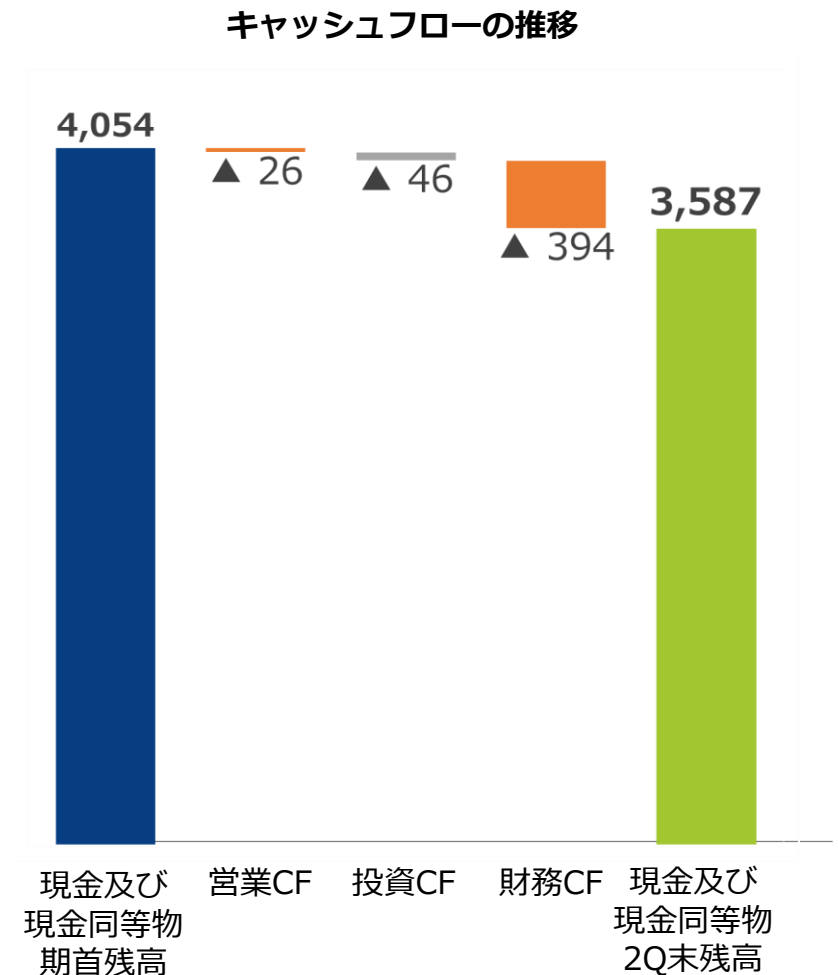
- 高い流動比率を継続
226.4%
(2021/3期末時点)
↓
235.7%
(2022/3期 第2四半期末時点)

自己資本比率の推移



キャッシュフローの状況

(百万円)	2021/3期 第2四半期	2022/3期 第2四半期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	758	▲26	▲784
投資活動によるキャッシュ・フロー	▲615	▲46	+569
フリー・キャッシュ・フロー※	142	▲72	▲214
財務活動によるキャッシュ・フロー	869	▲394	▲1,263
現金及び現金同等物の期首残高	4,103	4,054	▲49
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,115	3,587	▲1,528



※フリーキャッシュフロー = 「営業活動によるキャッシュ・フロー」 - 「投資活動によるキャッシュ・フロー」



2022年3月期 業績予想

当社グループ需要見通し

マニュファクチャリング サポート事業

	業界	需要見通し (2Q末時点)	人財ニーズ・事業機会
製造請負・ 製造派遣事業	電子部品・デバイス ・電子回路		引き続き半導体不足による在庫の積み増しや、自動車の電装化に伴う車載向けの需要拡大、5Gスマートフォンの普及などを背景に堅調
	情報通信		緊急事態宣言発令に伴う携帯ショップの稼働低下の影響は回復期待が高まる一方、半導体不足の懸念も
	電気機器器具		巣ごもり需要は一服する可能性。IoT・AI・省エネ関連商品の人材需要は引き続き期待
機電系技術者 派遣事業	IT		DX関連のシステム構築など大幅増員傾向。システム、アプリ開発、インフラ構築、クラウド関連の需要が主に関東で拡大
	自動車		半導体不足による減産の影響で、引き続き開発部門を中心に予算、外部人材の抑制が顕著。EV関連、自動運転関連は増加傾向
	半導体		生産現場はフル稼働。装置メーカーを中心にエンジニア需要が増加。海外への据付け、調整案件も再開。5G、データセンター向けなどの需要は今後も堅調
修理サービス 事業	業務用機器・設備		無人端末機器の設置案件は量販店、スーパー向けに増加。店舗向け業務用機器はアフターコロナを見据え設置案件が増え、保守・点検も増加見込み
	太陽光発電		引き続き太陽光発電システムの需要が顕在化。家庭用蓄電池システムの需要も高く、設置・修理案件が増加
自動化設備	ロボット保守		少子高齢化に伴いロボット・自動化設備導入需要は堅調と予測。小型無人航空機を使用した点検等の需要も見込める

当社グループ°需要見通し

	業界	需要見通し (2Q末時点)	人財ニーズ・事業機会
コンストラクション サポート事業	建築		オリンピック需要で止まっていた再開案件や大型案件が再開し、人材需要は回復傾向
	建築設備		
	請負・受託事業		大型商業施設などのリニューアル工事案件が本格稼働
ITサポート事業	システム開発		大きく改善。官公庁、製造、金融で需要が拡大
	その他		保守案件もプラスに転じ、拡大傾向
EMS事業	工作機械、 物流設備関連		繊維機械、車載（トラック車体）関連は生産調整が入っているものの、全体として工作機械や物流倉庫向け投資案件の増加は継続。ただし世界的な電子部材調達困難な状況下での供給面に課題あり
	半導体製造装置 関連		半導体や電子部材全般の不足から、設備投資案件が増え受注残が継続的に増加しているが、世界的な電子部材調達困難な状況下での供給面に課題あり
	医療機器関連		海外メーカーからの更なる増産による受注が継続的に入り、受注残が増加。ただし世界的な電子部材調達困難な状況下での供給面に課題あり

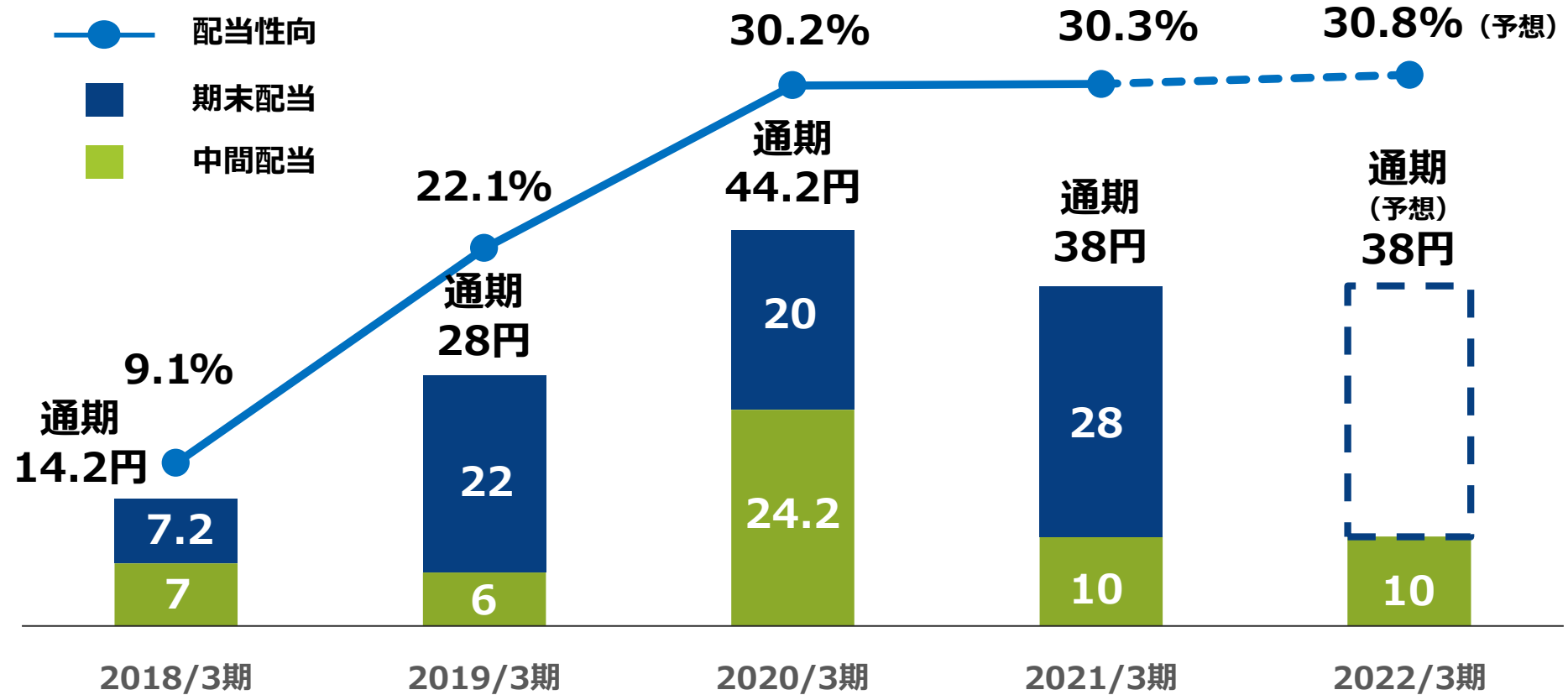
2022年3月期業績推移と予想

(百万円)	2021/3期 上期実績	2022/3期 上期実績	前期比	2021/3期 下期実績	2022/3期 下期予想	前期比	2021/3期 実績	2022/3期 計画	前年比
売上高	11,739	14,351	+22.2%	13,538	16,838	+24.4%	25,277	31,189	+23.4%
マニュファクチャリングサポート事業	8,239	9,052	+9.9%	8,935	10,487	+17.3%	17,174	19,530	+13.7%
コンストラクションサポート事業	1,752	1,913	+9.2%	1,895	2,689	+41.9%	3,647	4,602	+26.2%
ITサポート事業	-	1,342	-	914*	1,548	-	914*	2,890	-
EMS事業	1,603	1,795	+12.0%	1,507	1,775	+17.8%	3,110	3,570	+14.8%
営業利益 (営業利益率)	39 (0.3%)	195 (1.4%)	+396.2% (+1.1p)	401 (3.0%)	996 (5.9%)	+148.4% (+2.9p)	440 (1.7%)	1,191 (3.8%)	+170.8%
マニュファクチャリングサポート事業	42	84	+100.0%	349	736	+110.9%	391	820	+109.5%
コンストラクションサポート事業	71	45	▲36.6%	110	185	+68.2%	181	230	+26.5%
ITサポート事業	-	44	-	25*	72	-	25*	116	-
EMS事業	9	35	+288.9%	-1	44	-	8	79	+875.0%
経常利益 (経常利益率)	384 (3.3%)	352 (2.5%)	▲8.2% (▲0.8p)	864 (6.4%)	890 (5.3%)	+3.0% (▲1.1p)	1,248 (4.9%)	1,242 (4.0%)	▲0.4%
親会社株主に帰属する当期純利益 (当期純利益率)	200 (1.7%)	198 (1.4%)	▲1.0% (▲0.3p)	580 (4.3%)	576 (3.4%)	▲0.7% (▲0.9p)	780 (3.1%)	774 (2.5%)	▲0.8%
一株当たり当期純利益 (円)	32.52	31.73	▲2.4%	93.04	91.70	▲1.4%	125.56	123.43	▲1.7%

※ITサポート事業は2021年12月より新設のため2021/3期実績は4ヶ月換算

配当計画

■ 株主還元を重視し配当性向は30%を維持

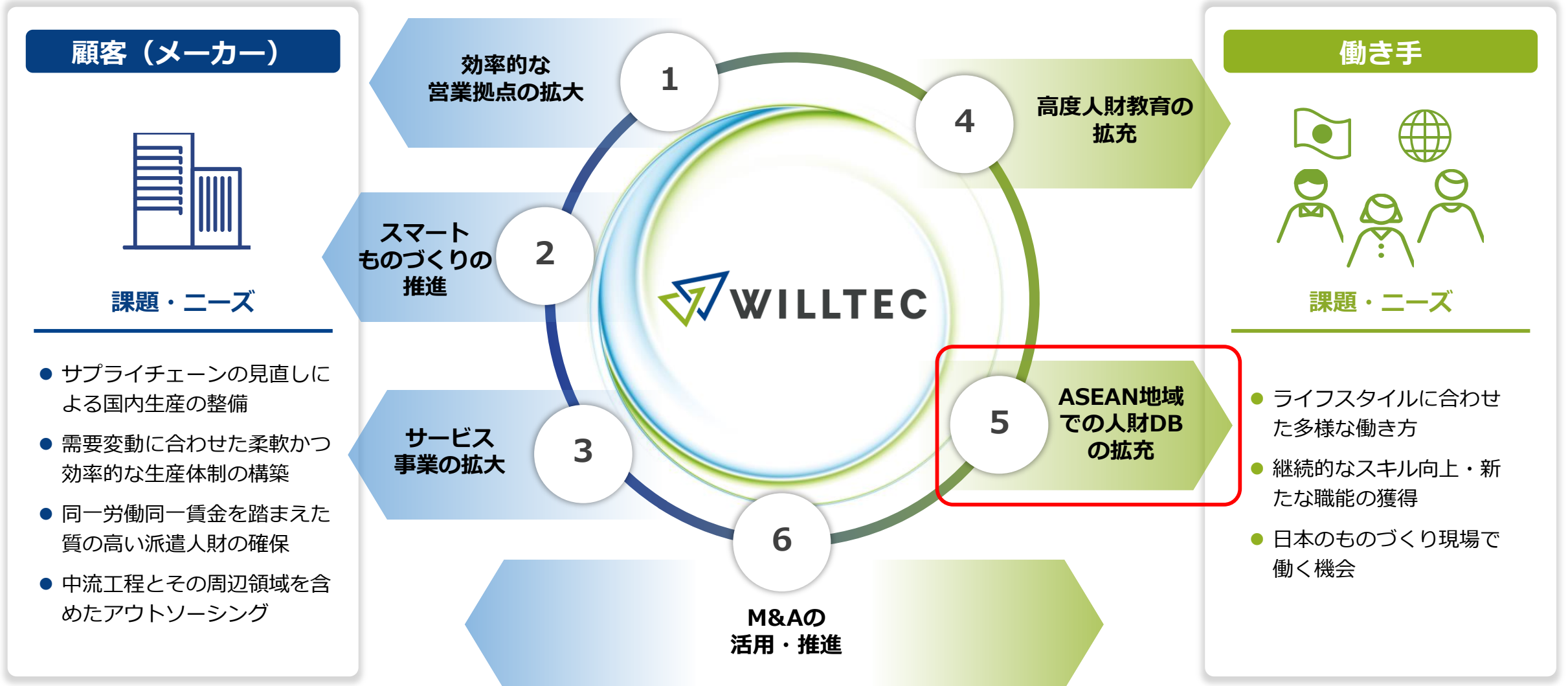


注) 当社は2019年10月16日付で普通株式1株につき5株の割合で株式分割を行っております。1株当たり配当金額は、株式分割を考慮して算定しております。

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

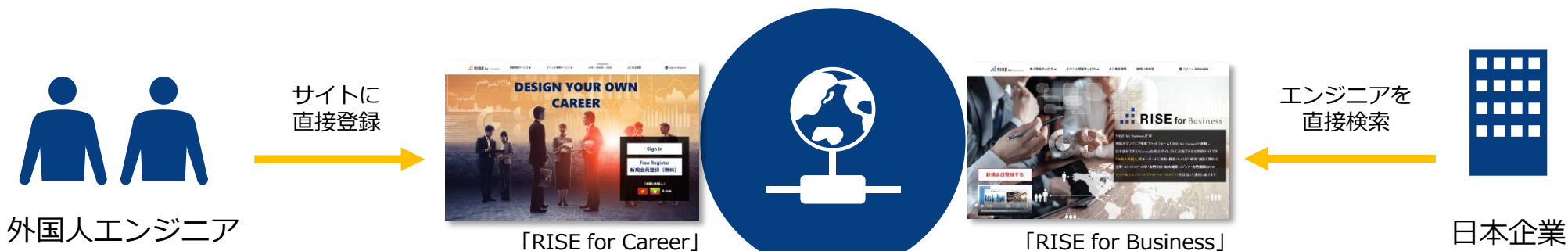
トピックス

中期経営計画 6つの成長戦略



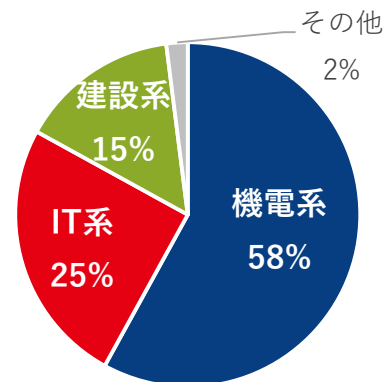
戦略⑤ ASEAN地域での人財DBの拡充

2021年7月にエンジニア特化型マッチングサイトを開設し、外国人エンジニアの登録と日本企業へ案内を開始



進捗

- 当初は当社のベトナム・ミャンマー現地法人の登録者1万5000人が順次サイトに登録
- ASEAN諸国のエンジニアを対象に、2025年までに10万人規模まで拡大



登録済外国人の職能属性

エンジニア特化型 マッチングサイト

- 海外エンジニアと企業がダイレクトにつながる
- 仲介サービスを省いたダイレクトリクルーティングによるマッチング。他の人材サービスより低コスト・時間短縮を実現
- オプションとして出入国手続きなどのサポートも用意
- 新たなプラットフォームビジネスとして展開

進捗

- 新型コロナウイルス感染症が沈静化した後の外国人人財ニーズの回復を見据え、先行的に案内を開始
- 既存顧客である大手メーカーに加え、中小メーカーもターゲットに

新市場区分「スタンダード市場」の選択

- 当社は、2021年7月9日付で株式会社東京証券取引所より「新市場区分における上場維持基準への適合状況に関する一次判定結果について」を受領し、新市場区分「スタンダード市場」の上場維持基準に適合していることを確認
- この結果に基づき、当社は、10月18日開催の取締役会において、**新市場区分「スタンダード市場」を選択することを決議**
- 今後は、株式会社東京証券取引所の定めるスケジュールに従い、新市場区分の選択申請に係る所定の手続きを進めてまいります

A horizontal bar with a blue segment on the left and a green segment on the right.

APPENDIX

押し寄せる変革の波。 お客様の感動を一步前へ。

ビジネス、テクノロジー、価値観。

現在、私たちの目の前では、

これまで経験したことがないスピードで、

想像以上に大きな変化が起こっています。

私たちは、他に先駆けて自らが変わることで、

イノベーションを起こす集団でありたい。

千変万化。

ウイルテックグループの経営方針です。



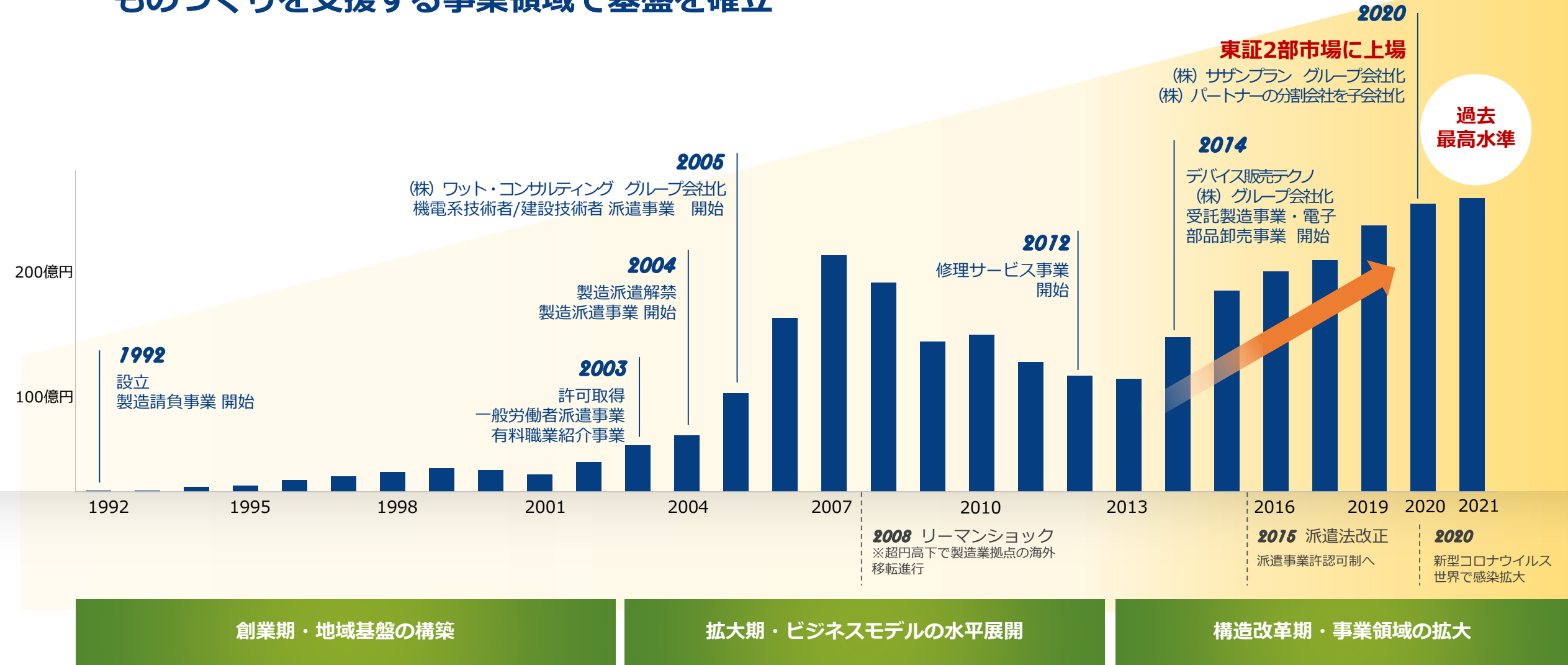
代表取締役社長
宮城 力

会社概要

社名	株式会社ウイルテック（英文表記：WILLTEC Co.,Ltd.）			
代表者	代表取締役社長 宮城 力			
設立年月日	1992年(平成4年) 4月			
本社所在地	〒532-0002 大阪府大阪市淀川区東三国4丁目3番1号			
資本金	128,250,000（2021年9月末時点）			
役員構成	取締役会長 代表取締役社長 常務取締役 取締役 取締役	小倉 秀司 宮城 力 野地 恭雄 西 隆弘 渡邊 剛	取締役 取締役（監査等委員） 社外取締役（監査等委員） 社外取締役（監査等委員）	石井 秀暁 京崎 利彦 麻田 祐司 見宮 大介
事業内容	製造請負/製造派遣/技術者派遣/受託製造/電子部品卸売/修理サービス/海外人材育成など			
売上規模	25,277百万円（連結/2021年3月期）			
従業員数	5,265名（連結/2021年3月末時点）※平均臨時雇用者含む			
グループ会社	株式会社ワット・コンサルティング デバイス販売テクノ株式会社 株式会社ウイルハーツ WILLTEC VIETNAM Co.,Ltd. WILLTEC MYANMAR Co.,Ltd. 株式会社サザンプラン 株式会社パートナー			

売上高推移と沿革

ものづくりを支援する事業領域で基盤を確立



事業領域



海外

2015
2016



海外人財コンサルティング・教育

事業内容

製造請負・製造派遣、機電系技術者派遣、修理サービスを展開

特徴

現在、益々需要が高まる電子部品・デバイス、電気機械、情報通信産業においてサービスを展開。蓄積したノウハウで事業領域を拡大し、ワンストップサービスを提供



製造請負・製造派遣事業

- 製造請負** メーカーに対して、当社の生産技術力、品質管理能力、労務管理能力をもって製造・加工・検査等を行い、成果物を納品
- 製造派遣** メーカーを中心に、当社の従業員を派遣し、製造・加工・検査等を実施



機電系技術者派遣事業

産業機械・装置メーカー、民生機器メーカー等に対して、設計関連に習熟した技術を持つ人財を派遣し、機械、電気・電子、ソフトウェア等に関する開発、設計を実施。未経験者への基礎研修や経験者への応用研修を行う研修センターを東京と大阪に設置



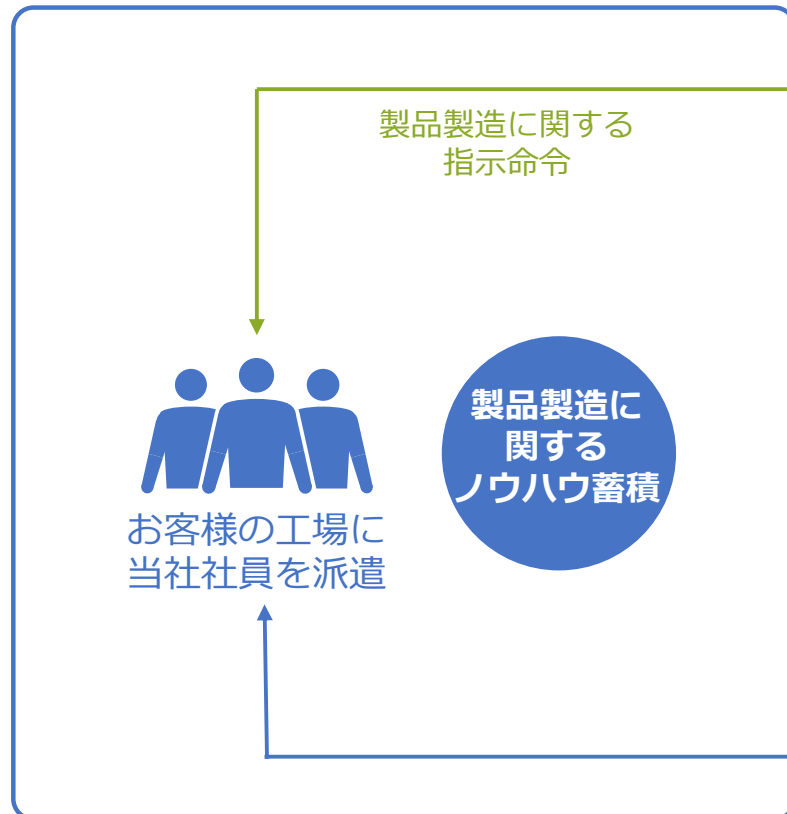
修理サービス事業

法人を顧客として、主に電源設備や電気機器の訪問修理や付帯するコールセンターの受託運営等を実施

■ 当社製造派遣・製造請負の流れ

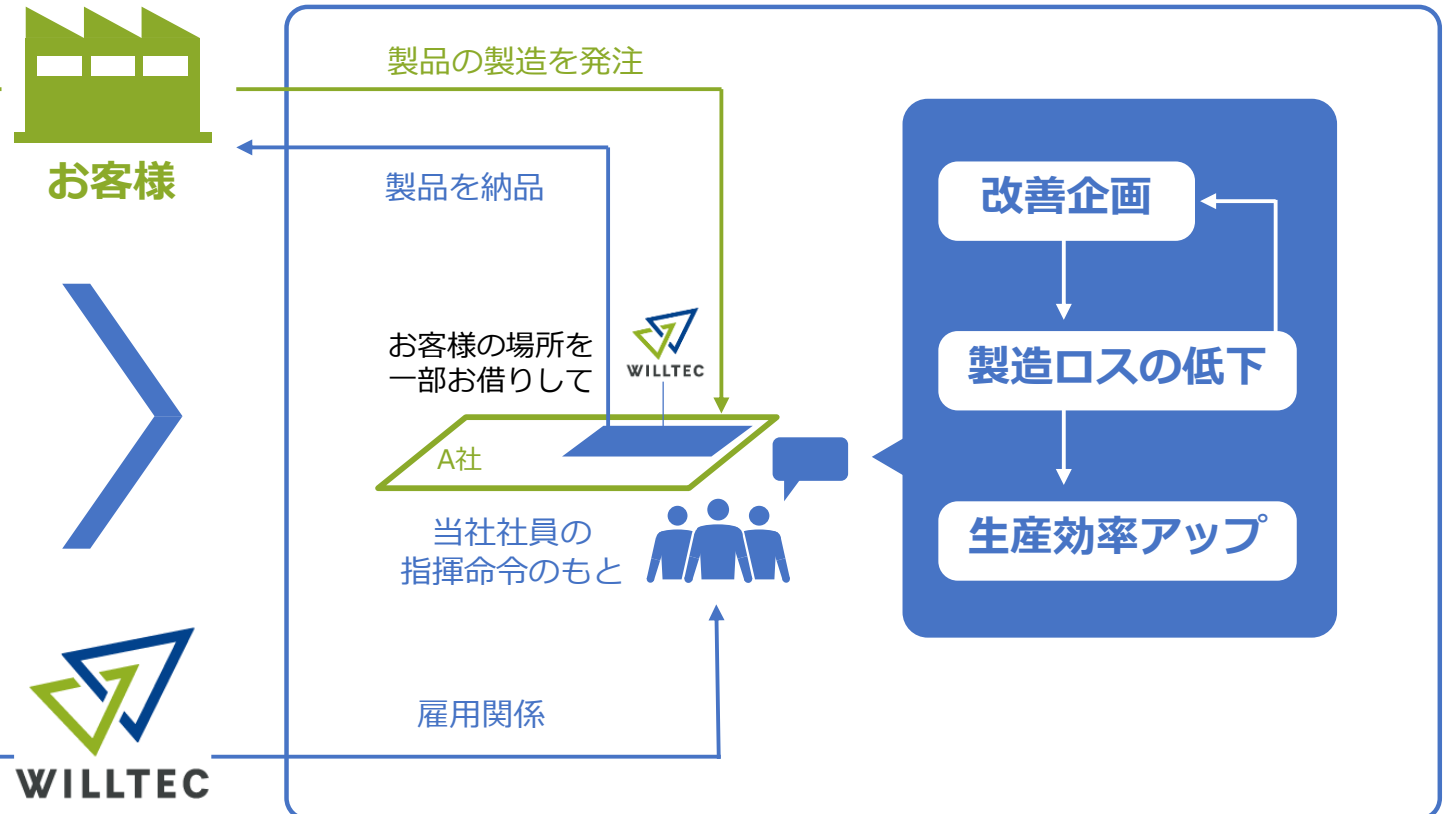
STEP1

製造派遣 売上 = 人数 × 時間単価



STEP2

製造請負 売上 = 納品数 × 製品単価



事業内容

建設系の技術者派遣事業、教育研修事業を展開

特徴

業界NO.1の研修充実度を誇り、取引先からの評価を得て、建設・建築設備を中心に事業を拡大

人材サービス事業

建設プロジェクトを自分たちの仕事として捉え、「建築」「建築設備」「土木」「プラント」のフィールドを支える優秀な技術者を派遣し、業務遂行をサポートいたします。また、雇用リスクを低減できる紹介予定派遣、人材紹介も行っています。



教育研修事業

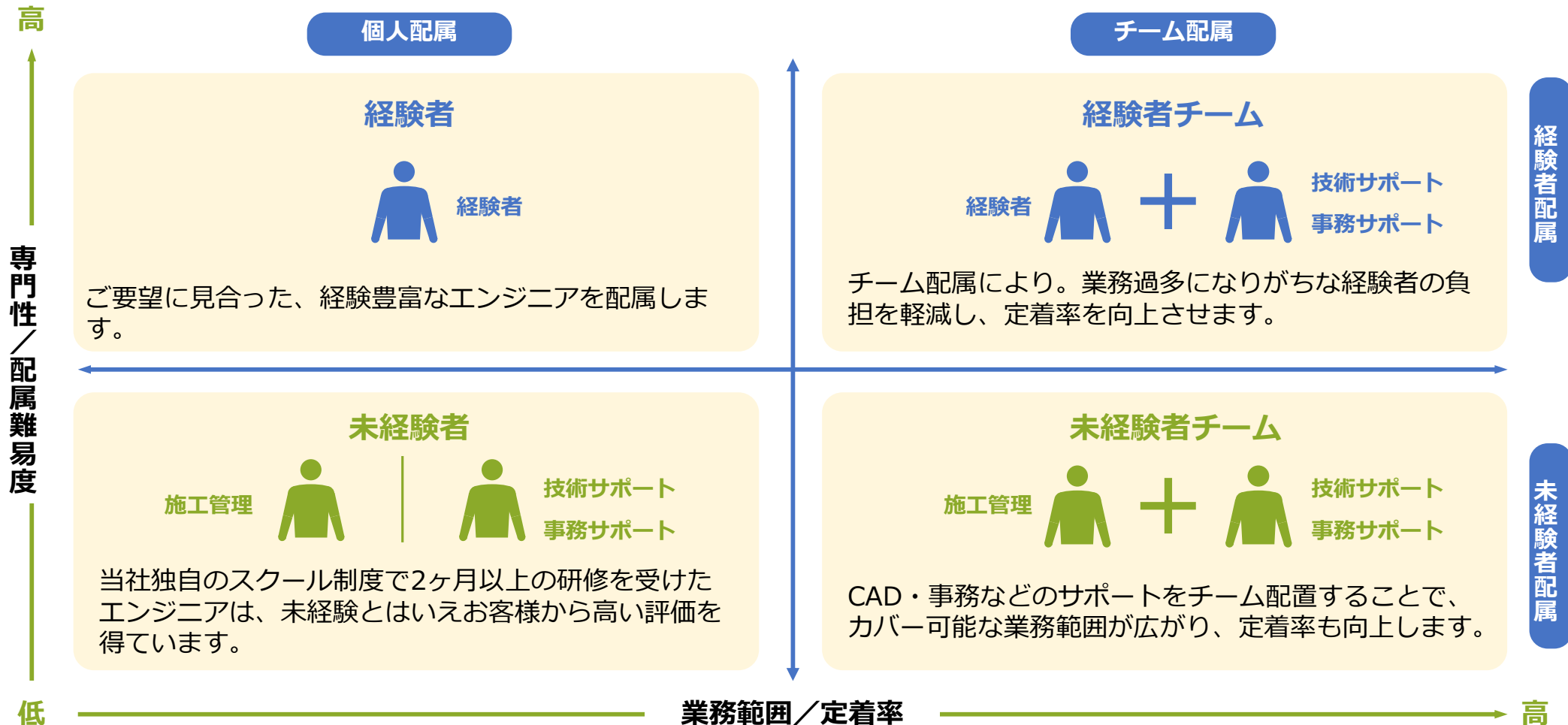
ゼネコン、設備系サブコンをはじめとする、建設系企業の若手技術者向けの技術研修やCAD研修などの受託を行っています。

建設事業

建築における電気設備工事の設計、施工及び請負の事業を行っています。電気設備技術者のOJTによる育成も積極的に取り組んでいます。

- 経験者配属をはじめ、定着率が高いチーム配属など、お客様ニーズを満たすさまざまな配属提案を行っています。

配属提案のイメージ



事業内容

IT系技術者派遣事業・受託事業を展開

特徴

システムインテグレーションの分野において、高い技能と経験を持つシステムエンジニア集団として多様なニーズに対応

サービス

IT業界で活躍する人財を育成、提供する企業として事業を展開

オープン系システム関連

JAVA、C++などによる業務系システムの構築、運用、などで、金融、メーカー、サービスなどの幅広い業界向けのオープン系システムでの人材ニーズにお応えしています。

ERP関連

SAP、MframeなどのERPの構築、保守、運用に特化した人財を提供することで付加価値の高い業務を行っています。

教育研修

専門性・ニーズの高い、高付加価値人財の育成

刻々と変化するITニーズにこたえるため、自社開発の研修プログラム、外部研修等の実施により、エンジニアの価値向上とキャリアの醸成を行っています。

強み



顧客基盤

金融・証券・医療・通信・サービス業など数多くの上場企業様と長期にわたる取引実績

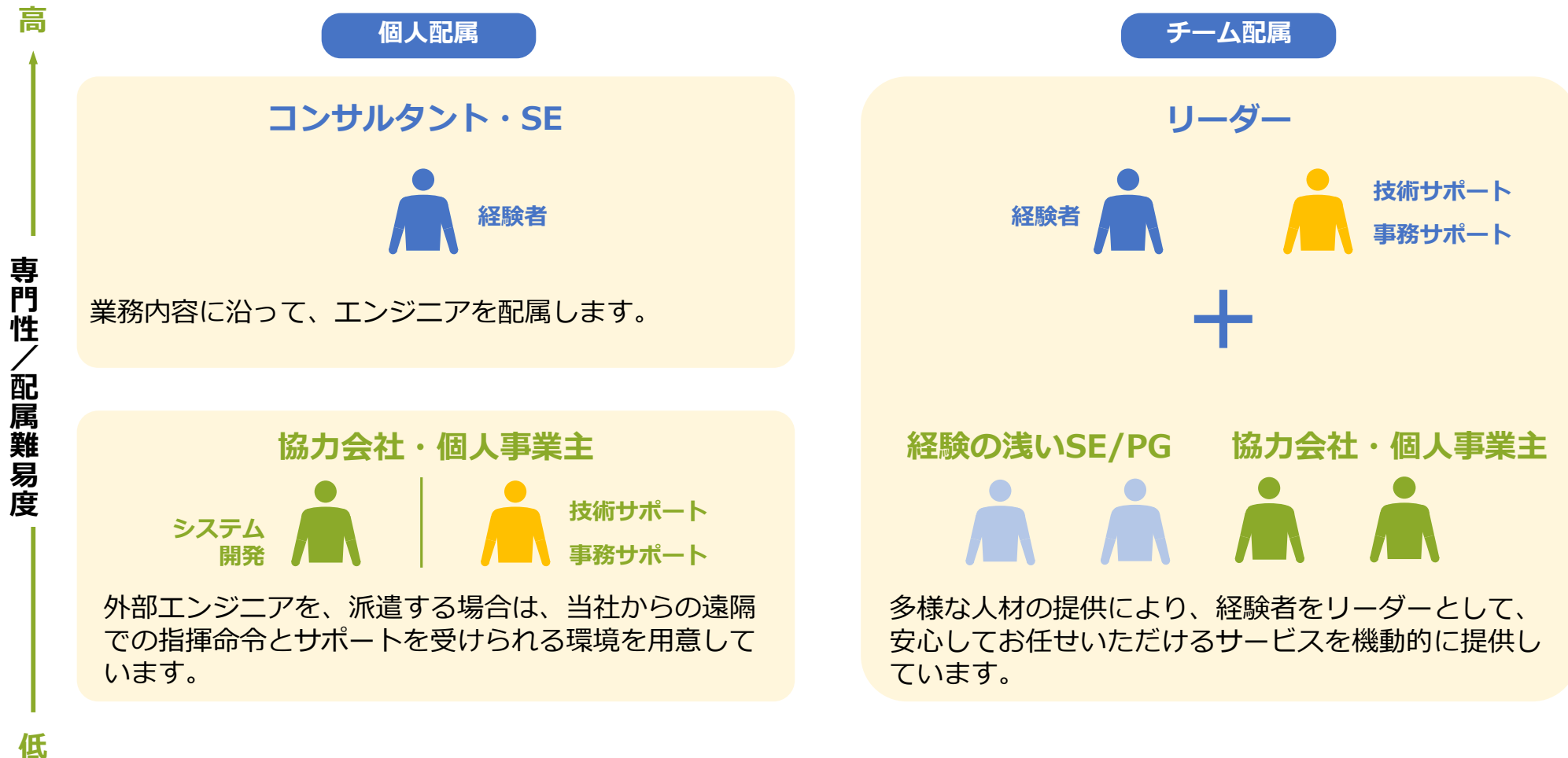


幅広い対応

業界業種、プラットフォームや言語を問わず、ITシステム的设计から開発、運用保守まで一貫サポート

- 経験者を中心としたチーム編成などで、知識と経験をくみあわせて、適時にお客様のニーズにお応えしています。

提案のイメージ



事業内容

制御盤、電源機器、産業機器の受託製造、電子部品卸売を展開

特徴

電子部品卸売事業における自社調達ネットワークと、設計から製造までを担う最効率な品質と生産体制を提案するEMS事業

受託製造事業

必要機能に特化し、コストも重視した効率の良いユニットの開発・製造受託

制御盤



基板



通信



電源装置



電子部品卸売事業

システム機器



リレー



コネクタ



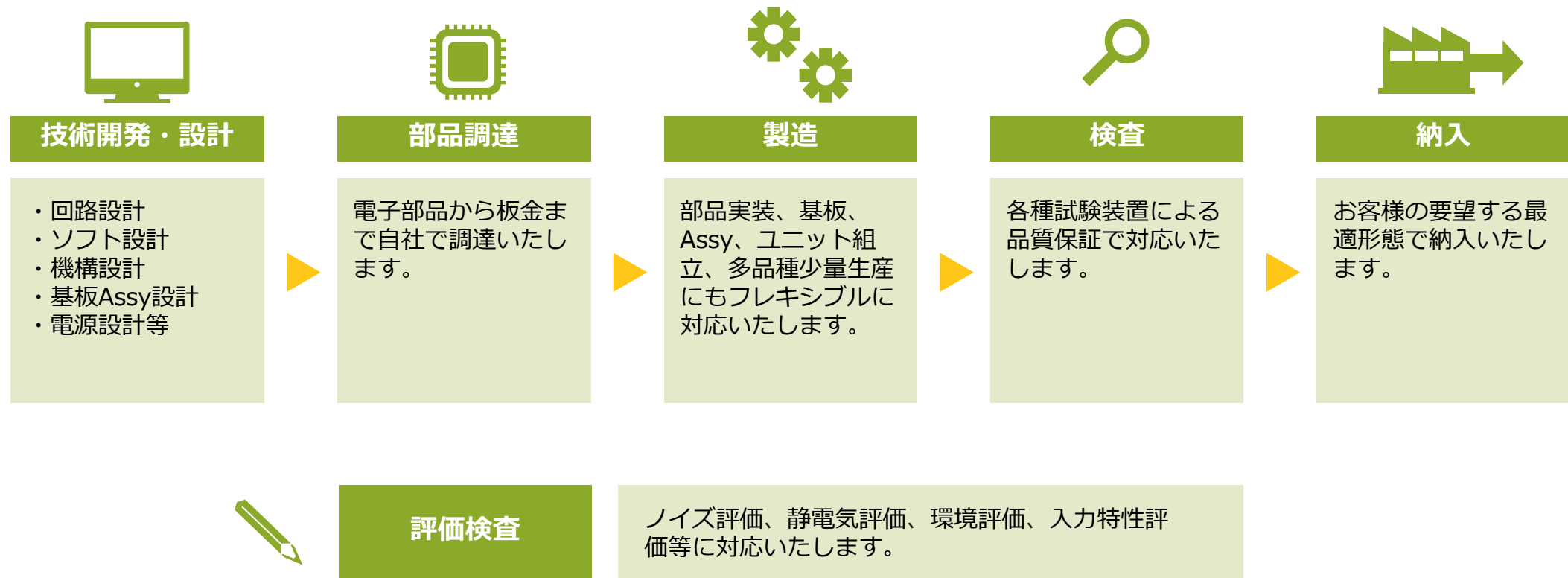
サーボモータ



拠点一覧



- お客様専用仕様による設計開発から納入まで一気通貫のものづくりで、ニーズにお応えします





本資料に関するお問い合わせ先

情報統括部 広報・IR課 IR担当

ir@willtec.jp